

◆好調カテゴリー別 金額市場規模前年比一覧

主食			
前月よりも伸長し、前年比109.3%と前年を上回った。値上げによる価格上昇が影響しており、販売数量では苦戦したカテゴリーも見られた。			
「菓子パン・調理パン」: 値上げの影響もあるが、外出増により手軽に食べられることから人気となったと推察される。生コッパンや生メロンパンなど、「生」がつくパンの好調も寄与した。			
「袋インスタント麺、カップインスタント麺」: 値上げの影響もあるが、新商品の寄与が見られ、販売数量も堅調に推移。			
「スパゲティ、マカロニ類」: 値上げの影響もあるが、コスバの良いプライベートブランド商品の好調が見られた。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
主食 TOTAL	109.3	1.9	
米	106.1	1.7	
米飯類	110.7	-0.4	
食パン	106.9	1.0	
菓子パン・調理パン	110.8	2.0	
シリアル類	100.4	2.3	
袋インスタント麺	116.1	8.3	
カップインスタント麺	112.0	4.4	
乾麺			
生麺・ゆで麺	107.5	-0.5	
スパゲティ	119.8	3.4	
マカロニ類	114.9	4.8	
小麦粉	102.4	4.2	
てんぷら粉	100.4	5.2	
唐揚げ粉	104.2	-4.4	
パン粉	101.1	0.2	
ブレミックス	107.6	5.2	

調味料			
前月よりも伸長し、前年比103.6%と前年を上回った。主食と同様に値上げによる価格上昇が続いており、販売数量では苦戦したカテゴリーも見られた。			
「ソース、ケチャップ、マヨネーズ」: 販売金額は増加したものの、価格上昇によるもので、販売数量は苦戦。そうした中、コスバの良いプライベートブランド商品の販売数量が堅調に推移している。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
調味料 TOTAL	103.6	0.7	
醤油	100.5	2.3	
味噌	100.8	-0.2	
食塩			
料理酒	104.0	3.0	
砂糖	104.3	0.1	
低カロリー甘味料			
シロップ類			
蜂蜜	107.1	6.9	
ソース	111.0	-0.7	
ケチャップ	117.3	0.1	
マヨネーズ	112.1	0.6	
ドレッシング	100.2	-2.5	
香辛料	101.3	1.2	
エッセンス類	101.2	1.6	
焼肉シャブシャブのタレ	101.0	1.1	
食酢	100.1	0.3	
ほん酢			
本みりん	102.9	1.5	
みりん風調味料	102.0	3.8	
風味調味料	101.1	-0.4	
削り節	101.7	3.6	
煮干し	107.8	1.5	
わかめ・こんぶ類	103.0	1.7	
つゆ・煮物料理の素	100.8	-0.2	
サラダ油・天ぷら油	103.1	4.0	
ゴマ油	105.0	3.6	
バター	108.0	4.0	
マーガリン類	104.7	0.4	
チーズ	107.1	-0.4	
ジャム・ママレード	102.7	-0.3	

※網掛け
前年比 105%超: 105.0%

加工食品①			
前月よりも伸長し、前年比108.9%と前年を上回った。			
「パスタソース」: 値上げの影響もあるが、袋のまま電子レンジで加熱できることや、袋の中にパスタを入れて電子レンジで加熱できることなど簡便さを訴求する商品の好調が見られた。テレビ番組で特集された商品の好調も寄与したとかがえる。			
「冷凍水産」: 値上げの影響もあるが、販売数量でも伸びが見られた。生鮮のもののような下処理が不要で簡便性が高く、さまざまな料理にアレンジしやすいことから人気となっていると考えられる。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
加工食品① TOTAL	108.9	0.7	
春雨・くず切り	104.5	-0.6	
こや豆腐	106.0	1.6	
海苔	102.1	-1.9	
ふりかけ	109.3	-2.9	
お茶漬の素	104.6	6.0	
まぜご飯の素	104.5	1.4	
カレー	107.4	-1.4	
シチュー	104.3	-1.1	
パスタソース	121.6	12.4	
シチューベース	107.5	-0.3	
メニュー専用料理の素			
スープ類	106.2	-0.3	
味噌汁・吸物類	105.6	2.7	
調理用スープ	103.2	2.5	
冷凍水産	118.9	2.7	
冷凍農産	111.9	-1.4	
冷凍調理	112.3	1.3	

加工食品②			
前月から横ばいで推移し、前年比103.2%と前年を上回った。			
「パウチ入り食材」: 値上げの影響も見られるが、ツナやバインなどの商品では販売数量の増加も見て取れた。パウチ入りの食品は、封を開けるなどして簡便に使用できゴミ出しも容易であることから、支持されているものと推察される。			
「魚肉ソーセージ」: 値上げの影響により販売金額が伸長したものの、販売数量では苦戦が見られた。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
加工食品② TOTAL	103.2	0.0	
魚介類缶詰	101.1	-1.2	
野菜缶詰	100.7	-0.9	
フルーツ缶詰			
畜肉缶詰			
パウチ入り食材	111.6	-0.9	
和風食品			
洋風食品	105.0	0.2	
中華風食品	101.4	0.6	
畜肉ハム	100.5	-0.8	
畜肉ソーセージ	102.9	0.4	
魚肉ソーセージ	105.9	2.1	
焼豚	104.8	-0.3	
ベーコン	100.5	0.9	

加工食品③			
前月よりも落ち込んだものの、前年比106.0%と前年を上回った。			
「はんぺん」: 値上げの影響もあるが、販売数量も堅調に推移。コスバの良いプライベートブランド商品の人気が見られた。			
「納豆」: コスバの良いプライベートブランド商品の好調が見られたほか、ナショナルブランド商品でも健康効果が着目されたためか、ひきわり納豆が人気となっている。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
加工食品③ TOTAL	106.0	-0.6	
かまぼこ	104.7	-3.4	
ちくわ	109.6	-2.2	
はんぺん	112.3	-1.0	
揚げ物	104.4	-1.8	
納豆	110.6	0.9	
煮豆	103.3	-0.1	
佃煮	103.8	-0.7	
もずく・めかぶ	108.4	1.1	
豆腐類	104.2	-1.0	

菓子			
前月よりも落ち込んだものの、前年比108.1%と前年を上回った。			
「キャンディ」: グミの好調が継続。味・形状・食感などが異なるさまざまな商品があることから、人気となっていると考えられる。足元では、エナジードリンクタイプの栄養補給効果を訴求する商品が好調。また、訪日外国人の増加の影響もあってか、のど飴も伸長した。			
「スナック」: 値上げの影響もあるが、新商品の寄与も見られ、販売数量も堅調に推移している。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
菓子 TOTAL	108.1	-1.1	
チョコレート	106.5	-0.4	
キャラメル	104.9	-15.4	
キャンディ	118.2	-1.2	
チューインガム	109.6	3.1	
ビスケット&クラッカー	104.0	-1.6	
スナック	114.3	0.5	
煎餅・あられ	111.2	-2.7	
玩具メーカー菓子			
栄養バランス食品	100.4	-0.7	

嗜好品			
前月よりも落ち込んだものの、前年比103.3%と前年を上回った。			
「インスタントクリーム」: 2桁増と販売金額が大きく伸長したものの、値上げの影響によるもので、販売数量は減少。			
「ペビーフード」: 値上げの影響もあるが、販売数量でもパウチ入りゼリーなどが伸長。持ち運びできる食事として、外出増が影響か。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
嗜好品 TOTAL	103.3	-2.3	
アイスクリーム	103.7	-4.5	
デザート類	102.3	-0.2	
ペビーフード	108.6	1.8	
インスタントクリーム	114.1	0.2	
フレッシュクリーム			
ホイップクリーム	105.0	-0.0	
インスタントコーヒー			
レギュラーコーヒー	104.8	-1.8	
紅茶	103.9	-0.1	
ココア	108.5	-0.5	
日本茶			
麦茶			
中国茶			

飲料			
前月よりも落ち込んだものの、前年比105.2%と前年を上回った。			
「乳酸菌飲料」: ストレス緩和等の効果を訴求する、機能性表示食品の商品の好調が継続。			
「ミネラルウォーター類」: 小型ペットボトルの商品が好調で、外出増の影響と見られる。			
「美容・健康ドリンク」: 食物繊維を豊富に含むことや、睡眠の質を向上させる効果があることを訴求する商品の好調が見て取れた。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
飲料 TOTAL	105.2	-1.8	
牛乳	104.3	-0.2	
ヨーグルト	105.0	-1.2	
乳酸菌飲料	141.1	-13.0	
豆乳			
100%ジュース	107.3	-1.0	
果汁飲料	106.9	-11.3	
トマトジュース	105.1	-0.4	
野菜ジュース			
コーラ			
サイダー			
炭酸飲料			
コーヒードリンク	107.4	1.2	
紅茶ドリンク	113.6	-0.6	
液体茶	102.1	-1.4	
スポーツドリンク			
美容・健康ドリンク	116.3	-11.7	
栄養ドリンク	103.5	4.5	
ミネラルウォーター類	114.7	-3.4	
乳酸飲料	104.7	1.6	

ペット			
前月よりも落ち込んだものの、前年比109.1%と前年を上回った。			
各種ペットフード・用品について、値上げの影響により販売金額は伸びているものの、販売数量は苦戦した。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
ペット TOTAL	109.1	-0.6	
ドッグフード	108.5	0.3	
キャットフード	119.2	-1.5	
ペット用品	102.6	0.4	

アルコール			
前月よりも伸長し、前年比103.3%と前年を上回った。			
「ウイスキー」: 7月からの値上げ前に、駆け込み需要が起きたものと見て取れる。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
アルコール TOTAL	103.3	1.2	
ビール類	101.2	0.5	
ウイスキー	126.6	11.3	
ワイン			
日本酒	101.9	0.6	
焼酎			

日用雑貨			
前月よりも伸長し、前年比105.5%と前年を上回った。			
「除湿剤」: 値上げの影響による買い控えの様相も見られたが、降水量の増加により需要が底堅く推移したとかがえる。			
「ラッピングフィルム、アルミホイル」: 値上げの影響で伸長したと見て取れる。			
「ティッシュペーパー」: 値上げの影響もあるが、外出増の影響がポケットタイプの販売数量が増加。ボックスタイプよりもコスバの良いソフトバックタイプの好調も見られた。			
「ペーパータオル」: 値上げの影響もあるが、手軽さや衛生的であることなどが支持されたためか、販売数量も底堅く推移。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
日用雑貨 TOTAL	105.5	2.1	
歯ブラシ	101.8	2.5	
歯磨き	103.5	1.5	
マウスウォッシュ			
義歯用剤	101.9	2.4	
洗濯用洗剤	103.7	-1.6	
中性洗剤			
漂白剤			
柔軟剤			
台所用洗剤	104.7	0.8	
住居用クリーナー	106.3	4.0	
トイレ用クリーナー			
バスクリナー	101.3	-0.4	
パイプクリーナー			
家庭用手袋			
化学雑巾	101.6	3.8	
たわし・スポンジ	102.8	4.7	
水切り袋	109.2	3.9	
殺虫剤	104.8	8.5	
防虫剤	101.0	9.9	
カビ防止剤			
芳香・消臭剤	102.0	3.2	
トイレタンク用洗浄芳香剤			
除湿剤	116.8	25.3	
ラッピングフィルム	116.5	4.7	
アルミホイル	115.2	0.1	
食品包装用品	103.0	0.7	
アルミガスマット	100.5	5.3	
ティッシュペーパー	119.0	-1.0	
トイレトペーパー	114.6	-0.3	
ペーパータオル	116.7	2.7	
ぬれティッシュ	102.2	4.5	
使い捨て紙クリーナー	101.9	0.8	
紙おむつ	105.9	-1.4	
大人紙おむつ	114.2	0.5	
生理用品	108.4	-0.0	
絆創膏	106.4	1.9	
使い捨てカイロ	108.7	1.5	
綿棒	108.0	6.9	

化粧品			
前月よりも落ち込んだものの、前年比111.5%と前年を上回った。			
化粧品全般が好調な中、コロナ禍のマスク生活で落ち込んでいた口紅がとりわけ大きく伸長。おしろい・化粧下地などで落ち込みからの回復が見られた。			
基礎化粧品の中で最も大きく伸長しているバックでは、国内需要に加えてインバウンド需要の寄与もあったものと推察される。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
化粧品 TOTAL	111.5	-1.5	
クレンジング	108.1	-1.8	
洗顔クリーム	112.5	2.9	
化粧水	106.8	1.6	
乳液	110.7	-0.9	
栄養クリーム	111.3	5.5	
バック	131.3	8.9	
美容液	107.3	3.1	
化粧下地	112.4	-2.6	
ファンデーション	107.2	-4.6	
おしろい	135.8	6.8	
口紅	198.5	7.1	
眉目料	103.8	-2.1	
マニキュア	104.3	2.7	

医薬品			
前月よりも伸長し、前年比111.4%と前年を上回った。			
総合感冒薬・鎮咳去痰剤・口腔用薬といった風邪関連薬が大きく伸長。インバウンド需要の寄与のほか、マスクの着用や手指消毒剤の使用といった感染予防対策が薄れ、風邪やインフルエンザなどを発症する人が増えていると推察される。整腸薬や外用鎮痛消炎剤などでも、インバウンド需要の寄与が見られた。			
カテゴリー	金額前年比 2023年6月	前月差 2023年6月	
医薬品 TOTAL	111.4	4.2	
コンタクト用剤	107.3	1.8	
マスク			
ミニドリンク剤	111.0	3.2	
漢方薬	119.1	4.8	
総合感冒薬	175.8	15.3	
鼻炎治療剤	108.0	13.3	
解熱鎮痛剤	113.8	7.3	
鎮咳去痰剤	176.1	16.9	
口腔用薬	193.2	31.8	
胃腸薬	110.7	1.9	
整腸薬	130.7	2.6	
外用鎮痛消炎剤	122.5	6.2	
皮膚用薬	105.5	5.5	
目薬	113.3	5.4	
健康食品	110.6	3.6	

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。